

道路行政の1年間の成果を報告します

～平成18年度達成度報告書 / 平成19年度業績計画書を公表～

記者発表資料

栃木県および国土交通省宇都宮国道事務所では、平成18年度の道路サービスの成果および平成19年度の目標を県民の皆さまにご紹介するため、この度、「平成18年度達成度報告書 / 平成19年度業績計画書」を策定・公表しましたのでお知らせします。

◆達成度報告書 / 業績計画書

道路行政マネジメントに基づき、栃木県内の道路サービスを県民の皆さまにわかりやすく理解していただくため、平成15年より作成・公表しているものです（別添1参照）。

◆平成18年度の達成度評価と代表事例（別添2参照）

- ・平成18年度は14指標中11指標を達成しました。
- ・国道4号 中北交差点：右折レーンの延伸により、渋滞に起因する経済損失を1年あたり約4億円減少させることができました。
- ・主要地方道那須高原線 一軒茶屋交差点：交差点改良により、渋滞発生時間を1日あたり約7時間短縮させることができました。

◆平成19年度に重点的に取り組む内容（別添3参照）

- ・交通事故の危険度が高い箇所から優先的に対策を実施します（「レッドゾーン戦略」による集中対策の導入）。
- ・危険にさらされた児童の安全を守ります（通学路における歩道整備の推進）。

◆達成度報告書 / 業績計画書の入手について

同報告書は宇都宮国道事務所および栃木県県土整備部HPでダウンロード（PDF形式）できます。（HP上で右のパナーをクリックしてください）



国土交通省宇都宮国道事務所HP（<http://www.ktr.mlit.go.jp/utunomiya/>）

栃木県県土整備部HP（<http://www.pref.tochigi.jp/town/douro/michidukuri/manage.html>）

平成19年12月26日

栃木県道路協議会

発表記者クラブ

栃木県政記者クラブ

竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、横浜海事記者クラブ

お問い合わせ先

国土交通省関東地方整備局 宇都宮国道事務所	栃木県県土整備部 交通政策課道路企画グループ
副 所 長：秋元 孝夫（内線205）	グループリーダー：嶋田 寛
計 画 課 長：岡田 雅昭（内線301）	主 任：秋澤 賢
住 所：栃木県宇都宮市平松町504	住 所：宇都宮市埴田1-1-20
電 話：028-638-2181（代表）	電 話：028-623-2408

道路行政を「透明に」かつ「効率的に」進めています

～PDCAサイクルによる継続的な改善～

少子高齢化が進み、国民のニーズが多様化する中、公共事業は単に供給するだけではなく「真に必要なところ」に「限られた財源」を「効率的」に投入する「成果重視」の取り組みが必要とされています。

道路行政においても、国民にとっての成果を重視し、PDCAサイクル※による継続的な改善を進める道路行政運営の仕組み（道路行政マネジメント）に取り組んでいます。

道路行政マネジメントに基づき、前年度設定した目標の評価結果を取りまとめたものを皆様に公表し（達成度報告書の作成）、その評価を今年度の成果目標に反映します（業績計画書の作成）。なお、これらの取り組みを進めるにあたり、道路の課題を分かりやすく「見える化」して、真に必要な箇所から重点的に解決していきます。

道路見える化計画

課題が見える・やり方が変わる

- 宣言1 道路の課題をデータできちんと把握します。
 宣言2 解決を急ぐべきところから重点的に対策します。
 宣言3 道路行政をもっとわかりやすく「見える化」します。



平成18年度は14指標中11指標を達成 ～業績目標に対する取り組み成果の達成度評価～

暮らし ～暮らしやすさを支える道づくり～

成果目標	成果指標	H18目標	H18実績		H19目標
【目標1】 道路利用時の危険性改善	【指標1】 道路防災危険箇所数	274箇所	272箇所	目標達成	27箇所削減 [245箇所]
【目標2】 高度な救急医療施設へのアクセス性向上	【目標2】 2次医療機関への15分カバー面積	1,135km ² (39%)	1,139km ² (39%)	目標達成	4km ² 拡大 [1,143km ² (39%)]
【目標3】 交通事故の抑制	【指標3-1】 通学路歩道整備延長	1,096km (65%)	1,104km (66%)	目標達成	30km推進 [1,134km(67.7%)]
	【指標3-2】 交通死傷事故率	85.4件/億台キロ	85.5件/億台キロ	目標達成	0.4件/億台キロ削減 [85.0件/億台キロ]
【目標4】 自動車交通の円滑化	【指標4-1】 主要渋滞ポイント数	55箇所	54箇所	目標達成	8箇所緩和 [46箇所]
	【指標4-2】 渋滞損失時間	57.6百万時間/年	57.6百万時間/年	目標達成	1.0百万時間/年削減 [56.6百万時間/年]
【目標5】 県内主要都市へのアクセス性向上	【目標5】 広域行政圏中心都市等20分カバー人口	1,634千人 (82%)	1,634千人 (82%)	目標達成	19千人増加 [1,653千人(82%)]
【目標6】 快適な歩行空間の確保	【指標6】 歩道整備延長	1,804km (49%)	1,812km (49%)	目標達成	38km推進 [1,850km(50.5%)]

活力 ～県土の活力を高める道づくり～

成果目標	成果指標	H18目標	H18実績		H19目標
【目標7】 県内産業の競争力強化	【指標7】 高速IC15分到着工業団地数	27箇所	27箇所	※	3箇所拡大 [30箇所]
【目標8】 高速道路の利用向上	【指標8】 自動車専用道路分担率	— [向上をめざす]	—	※2	1%向上 [約18%]
【目標9】 県都宇都宮へのアクセス性向上	【目標9】 県都宇都宮への60分カバー人口	1,520千人 (76%)	1,520千人 (76%)	目標達成	10千人増加 [1,530千人(76%)]
【目標10】 首都圏観光の支援	【指標10】 高速IC30分カバー面積	2,719km ²	2,719km ²	目標達成	178km ² 拡大 [2,897km ²]

魅力 ～魅力ある街や地域を創る道づくり～

成果目標	成果指標	H18目標	H18実績		H19目標
【目標11】 電線類の地中化推進	【目標11】 市街地の幹線道路の無電柱化延長	53.2km (12%)	52.8km (11.5%)	目標達成	6.1km推進 [58.9km(12.8%)]
新たな目標 【目標12】 快適な都市生活の支援	【指標12】 市街地内幹線街路の整備率	—	56.5%	—	0.5%推進 [57.0%]

環境 ～環境にやさしい道づくり～

成果目標	成果指標	H18目標	H18実績		H19目標
【目標13】 道路緑化の推進	【指標13】 道路緑化延長	520.6km	520.9km	目標達成	0.2km推進 [521.1km]
【目標14】 沿道環境の改善	【指標14】 NOx排出量	16,570t-NOx/年	16,575t-NOx/年	目標達成	72-NOx/年削減 [16,503t-NOx/年]
【目標15】 地球環境への貢献	【指標15】 CO2排出量	443.2万t-CO2/年	443.5万t-CO2/年	目標達成	0.7万t-CO2/年削減 [442.8万t-CO2/年]

※1 【指標7】 高速IC15分到着工業団地数は目標が現状維持であったため達成度は評価していません。

※2 【指標8】 自動車専用道路分担率については、当初目標の設定以降に北関東自動車道の整備予定延長が変化したため目標値が変化しました。

◆平成18年度の代表的な取り組み事例

指標
4-2

一般国道4号 矢板市 中北交差点

整備効果 ▶ 渋滞による経済損失が**約3割減少**（約14億円/年 ⇒ 約10億円/年）しました。

◆実施対策

- 中北交差点の「右折レーン」を40mから95mに延伸。

至：矢板市街

至：東京

国道4号

中北交差点

右折車が直進車を阻害

右折レーン長
L=40m

至：福島

至：大田原

右折レーンを延伸し
右折車と直進車を分離

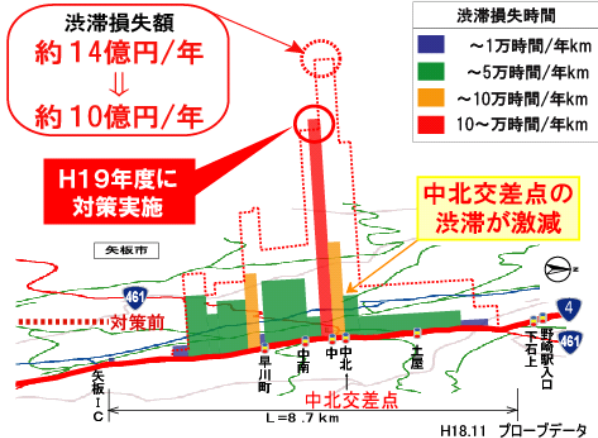


延伸した右折レーン

右折レーン長 L=95m

中北交差点

◆整備効果と今後の取り組み



中交差点に残る渋滞(右折車による直進車の阻害)



- 今年度は、同様の原因で渋滞が残る中交差点において簡易対策を実施します。

指標
10

主要地方道 那須高原線 一軒茶屋交差点

整備効果 ▶ ゴールデンウィーク時の渋滞発生時間が一日あたり**約7時間**短縮されました。

◆実施対策

- 交差点改良を行い、歩道を設置しました。

整備前



一軒茶屋交差点を先頭にした渋滞の状況

整備後

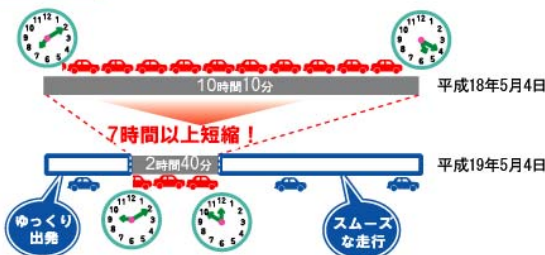


交差点改良後の通行状況

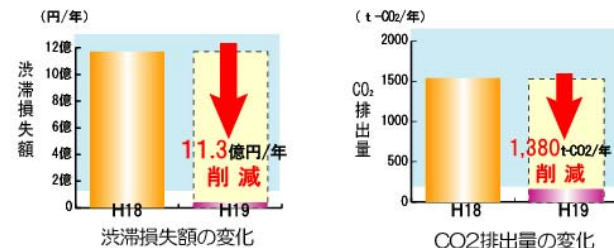
◆整備効果と今後の取り組み

・ゴールデンウィーク期間・渋滞比較

渋滞発生時間帯



一年間トータルすると・・・



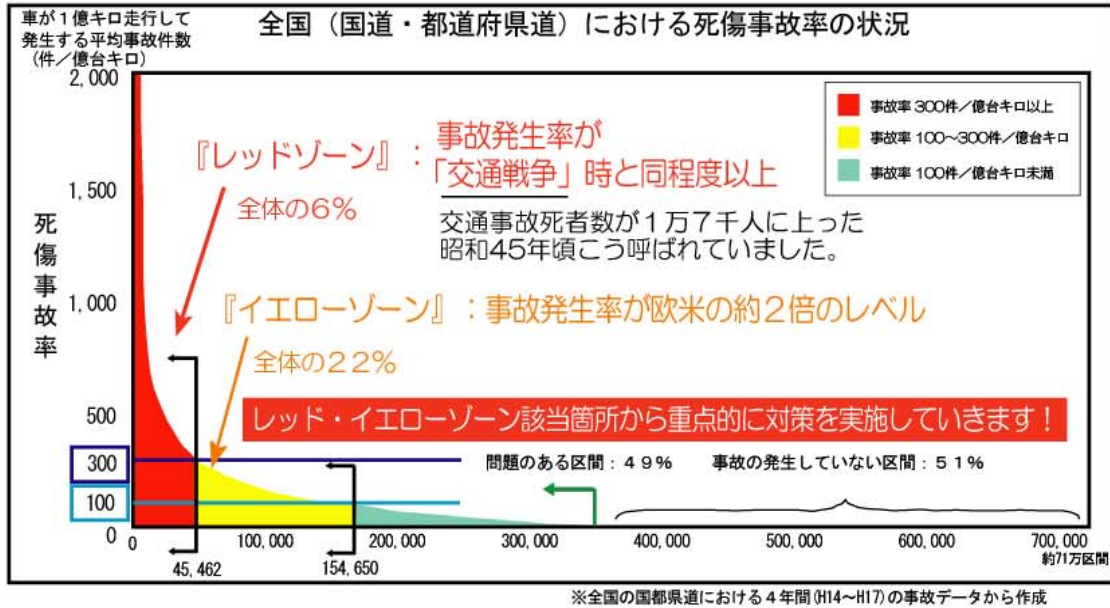
- 今年度は、必要に応じて追加対策を実施していきます。

「レッドゾーン戦略」による集中対策を実施します

～平成19年度の重点的な取り組み(その1)～

現況 死傷事故の発生確率が高い箇所が未だに存在しています。

～「レッドゾーン戦略」による集中対策の導入～



実施事業 レッド・イエローゾーンに該当する箇所を抽出し、対策を実施します。

○足利女子高校前交差点（国道293号） ○小山市羽川（国道4号）

交通事故発生率
栃木県内ワースト3位



➡交差点内で追突や出会い頭の事故が発生

実施対策：交差点改良

交通事故発生率
栃木県内ワースト1位



➡児童の通学の安全性に不安

実施対策：歩道拡幅

通学路の歩道整備を重点的に進めます

～平成19年度の重点的な取り組み(その2)～

現況 交通事故によって毎日平均約3.5人の子供が死傷しています。

- 年間約1,300人の死傷者数
- 通学路の歩道整備率は未だ6割

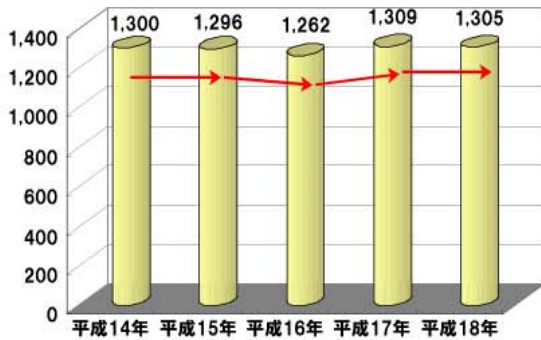


図-1 子供の死傷者数の推移

出典：栃木県警察調べ
(対象：幼児・園児、小学生、中学生)



※2：小学校を中心とした直径2km圏内をいう

図-2 指定通学路の歩道整備状況

出典：国土交通省宇都宮国道事務所、
栃木県調べ（平成18年度末）



実施事業

「事故の危険性が高い箇所」や「県民からの要望の高い箇所」から緊急度に合わせて対策を実施します。

通学路の歩道整備事例

一般国道121号 益子町七井（七井小学校）

